



南小だより



櫛引南小学校

令和7年9月25日

どうして勉強しないといけないの？

校長 奥山 徹

2学期の始業式で「勉強」について子どもたちに問いかけました。

校長：みなさん、勉強は好きですか？

児童：全部の教科が好き！（少数） 好きな教科ときらいな教科がある（多数）
勉強はきらい（ごく少数）

校長：じゃあ、勉強はしないといけないものですか？

児童：うん（ほとんどの子どもたち）

校長：じゃあ、どうして勉強しないといけないのかなあ？

児童：（何か言いたげな子に、首をかしげる子）

校長：これにはいろいろな答えがあると思いますが、校長先生の答えはこうです。

勉強は『**幸せになるため**』にするのだと思います。自分の夢をかなえた人たちがいるとします。プロ野球選手は、小さい時から速く遠くへボールを投げたり、ヒットやホームランを打つ練習をしたりします。また、コーチに相談したりチームメイトと話し合ったりし、どうすれば試合に勝てるようになるかを研究もします。パン屋さんはおいしいパンを作るために修行をしたり、材料についてくわしく調べたり、おいしく作るためのレシピを自分で考えたりします。お医者さんは、人の体や薬などについて何でも知っておかなければなりません。たくさんの本や資料を読んで、周りのお医者さんと研究会を開いて、病気を治す方法を常に考えています。・・・どれもこれもすべてが「勉強」です。勉強をしないで自分の夢をかなえている人っているのでしょうか？・・・こんな言葉があります。「**努力はうらぎらない**」一生懸命がんばったことは、将来、結果としてかならず返ってくるのです。小学生のみなさんだったら、毎日家庭学習をがんばれば、勉強の成績が上がるだけでなく、何事も最後までやり遂げる強い心やトラブルを乗り越え踏ん張る力がつきます。そういった力がつくことで、みなさんのいろいろな夢をかなえる可能性が高まってくるのです。南小の先生方はみなさんの幸せのために、これからも一生懸命勉強を教えていきます。みなさんも、自分の幸せのためにがんばっていきましょう。

南小の「りんごの秋」到来！

読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋・・・この時季には、いろいろな秋がやってきますね。櫛引南小は、何の秋があてはまるでしょうか？私はずばり「**りんごの秋**」かなと思います。学校の3種類のりんごの木「つがる」「千秋」「ふじ」ともに順調に育っており、収穫も間近です。今年もジュシーなりんごを味わえること、とても楽しみです。そして何より、この南小のりんごで地域の方々と心温まる「ふれ合い」ができることが、南小りんご学習の真髄だと思います。子どもたちが下校しながら地域のお年寄りの方のお家に直接行き、ちょっと緊張しながらもりんごと手紙を手渡すと「ほんとうにありがでちゃー」「わざわざ持ってきてくれてありがどのー」「あんや、うれしごどー」などの温かいお言葉。自然に子どもたちはとても満足げな笑顔になれます。今年も最高の「りんごの秋」になることを願っております！

